

各事業の3年度の決算報告

公営企業会計決算

病院

問い合わせ
保健・医療政策課 ☎ 072(740)1136

年度末資金不足額 1億 2,791万円
市立総合医療センターが9月に開院

支 出		収 入	
減価償却費	2億2,506万円	他会計負担金及び交付金	11億4,387万円
指定管理料	2億1,167万円		
経費	1,975万円		
固定資産除却費	4億8,625万円	長期前受金戻入	2億1,771万円
支払利息	3,811万円	指定管理者負担金	1億1,876万円
その他の支出	2億6,883万円	その他の収入	838万円
特別損失	1億5,173万円	特別利益	15万円
小計	14億 140万円	小計	14億8,887万円
当年度純利益	8,747万円	当年度純損失	
合計	14億8,887万円	合計	14億8,887万円

水道

問い合わせ
上下水道局経営企画課 ☎ 072(740)1260

3億 8,402万円の黒字
配水池等耐震化工事などに5億 1,479万円

支 出		収 入	
受水費	11億1,069万円	水道料金	28億1,412万円
減価償却費	5億4,212万円	分担金	1億7,654万円
委託料	3億9,635万円		
修繕費(※)	3億1,839万円	長期前受金戻入	1億5,893万円
人件費	2億3,096万円	特別利益	7,592万円
動力・薬品費	4,496万円	その他の収入	1億4,782万円
支払利息	3,272万円		
その他の支出	3億1,312万円		
小計	29億8,931万円	小計	33億7,333万円
当年度純利益	3億8,402万円	当年度純損失	
合計	33億7,333万円	合計	33億7,333万円

※修繕費には材料費・路面復旧費を含みます。

下水道

問い合わせ
上下水道局経営企画課 ☎ 072(740)1260

7億 975万円の黒字
管渠やポンプ場の整備などに8億 1,111万円

支 出		収 入	
減価償却費	17億8,506万円	下水道使用料	17億4,591万円
負担金	5億6,917万円		
人件費	2億 406万円	長期前受金戻入	9億5,973万円
支払利息	1億6,586万円	他会計負担金及び補助金	9億1,655万円
修繕費(※)	9,246万円	その他の収入	1億4,020万円
委託料	1億4,817万円		
その他の支出	4,786万円		
小計	30億5,264万円	小計	37億6,239万円
当年度純利益	7億 975万円	当年度純損失	
合計	37億6,239万円	合計	37億6,239万円

※修繕費には材料費を含みます。

市立総合医療センター開院に向け、建設工事や高度医療機器の入札を実施。また、旧市立川西病院の跡地活用については、回復期病床を確保できる今井病院移転に向け、看護師宿舎・医師住宅などの解体工事を実施。資金不足額は、消費税及び地方消費税の還付金により4年度末に解消する見込みです。

借 方	貸 方
土地、建物、器械備品、投資など固定資産	企業債、他会計借入金など固定負債 167億8,227万円
166億7,800万円	一時借入金、未払金など流動負債 17億8,806万円
	繰延収益 21億2,633万円
	資本金 1億1,018万円
現金預金、未収金など流動資産	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 20億1,468万円
15億2,029万円	欠損金 46億2,323万円
合計 181億9,829万円	合計 181億9,829万円

改良・5期拡張工事に取り組み、安定した給水確保に努めました。改良工事では、配水管改良工事・送配水管耐震化工事、けやき坂配水池の耐震化工事などを実施。5期拡張工事では、配水管布設工事などを実施しました。経営の健全化と基盤強化に努め、施設の更新を進めながら、安全な水道水を送り続けます。

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、ダム使用权、投資など固定資産	固定負債 20億8,123万円
192億3,862万円	未払金など流動負債 7億3,659万円
	繰延収益 35億7,373万円
	資本金 57億1,222万円
現金預金、未収金など流動資産	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 90億6,436万円
57億4,846万円	利益積立金 3億4,900万円
	建設改良積立金 19億6,300万円
合計 249億8,708万円	当年度未処分利益剰余金 15億 695万円
合計 249億8,708万円	合計 249億8,708万円

建設改良事業に取り組み、公共用水域の水質保全に努めました。同事業では、管渠(家庭などから出たトイレや生活雑排水など汚水・雨水を流す下水道管)の整備やポンプ場の設備更新などを実施。維持管理や浸水・地震などの課題に対応し、運営基盤の強化を図りながら展開していきます。

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、機械及び装置、施設利用権など固定資産	固定負債 100億7,790万円
369億6,137万円	未払金など流動負債 16億4,238万円
	繰延収益 163億6,532万円
	資本金 73億9,929万円
現金預金、未収金など流動資産	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 9億8,752万円
28億6,824万円	減債積立金 12億4,300万円
	当年度未処分利益剰余金 21億1,420万円
合計 398億2,961万円	合計 398億2,961万円



新人職員

川西市の財政のことが分かるようになりたいんですけど、難しくて分かりません・・・

企画財政課 横井 陽典

先輩職員

そうね。確かに難しいよね。分かりやすく説明するね!

企画財政課 宮内 里穂

教えて！ 財政のこと

川西市の財政担当に聞いてみた

問い合わせ 企画財政課 ☎ 072(740)1130

市の懐事情
横井 結局、川西市は黒字なんですか？
宮内 9ページで説明したように、3年度は13.6億円の黒字だったの。実は、元年度までは基金を調整して黒字を維持してきて。つまり、貯金を切り崩していたということ。
横井 えーっ。そうだったんだ。
宮内 でも今は、基金を取り崩さなくても黒字が確保できる状態にはなったわ。
横井 国からのコロナ対策の交付金は、黒字の要因なんですか？
宮内 それは、感染症対策や行政事務のデジタル化とかを行うことで、市民サービスに還元しているわ。
横井 じゃあ何が要因なんですか？
宮内 川西市では元年度からの3年間を「財政健全化の集中期間」と位置付けていたの。全ての事業を見直す事業再検証などの「行財政改革」を行ったことが挙げられるわ。他にも、コロナの影響で、事業が中止になったことや、国全体の経済回復で国からの税収

配分が増えたこととかも考えられるかな。
横井 黒字の額は大きい方がいいんですか？
宮内 そうとも言えないの。財政運営で大切なのは、収支を黒字にすることではなくて、歳入の範囲内で行政サービスを行うことなの。つまり、市民の皆さんが納めている税金を、市が行うサービスで効果的に還元することが大切なんだよ！
行財政改革とは
横井 そういえば、「行財政改革」って初めて聞くんですけど、何なんですか？
宮内 「より少ない経費でより多くのサービスができるように、行政サービスの必要性や在り方について見直すこと」だよ。最近の川西市でいえば、ごみ収集の在り方を見直しをした例があるね。
横井 あ、今年の4月に収集日が変わりましたよね！前か



少しずつ状況は良くなっているよ



なるほど!

ら何か変えていたんですか？
宮内 2年度から民間事業者に委託する業務量を増やして、市の人件費を削減しているの。あとは、元年度から進めていた旧市立川西病院の経営改革なども挙げられるわ。
横井 なるほど！少しずつ改善しているんですね。
今後の見通し
横井 財政状況は、少しずつ明るい兆しが見えてきたってことですかね？
宮内 4年度までは黒字決算が見込まれる状況よ。でも、5年度からは、中学校給食センターの運営費用や、老朽化した施設の改修などの財政負担で厳しい状況が見込まれているわ。
横井 赤字が続くと行政サービスが継続できないから、そうならないためにも、改革を引き続き進めていかないといいないですね。僕も財政担当として頑張ります！